



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
—高度がん医療開発を先導する専門家の養成—
市民公開講座・シンポジウム

慶應義塾大学、北里大学、首都大学東京、信州大学、
聖マリアンナ医科大学、聖路加看護大学、東海大学、
東京歯科大学、山梨大学、国際医療福祉大学



入
場
無
料

申
込
不
要

がん医療 次のステップへ がん患者のQOLを高めるサポータティブケア

日時 平成25年 **11月23日** 土 13:30~16:30

日本のがん医療は原病であるがんの予防や治療に対する対策が中心で、療養生活の質の維持向上についての取り組みが十分でなかったことは否めません。がん患者は、手術や化学療法・放射線療法などの治療中の副作用や治療後の後遺症により様々な問題を生じ、自宅での療養生活や社会復帰に支障をきたすことが少なくありません。リハビリ、栄養管理、口腔ケア、心のケア、症状緩和、社会復帰支援などのサポータティブケアを多面的かつ包括的に実施することが、がん患者のQOL向上に重要となります。病と共に生きる患者と家族のQOL向上のために、サポータティブケアについてともに学びましょう。



場所 信州大学松本キャンパス旭総合研究棟 9階 講義室A・B

対象者 医療関係者・一般市民

プログラム

基調講演 13:40~14:00

「がん治療におけるサポータティブケアの役割」

座長 栗田 浩 (信州大学医学部歯科口腔外科学講座教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン支持療法委員会委員)

講師 辻 哲也 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学 准教授)

シンポジウム 14:00~16:20

「がん患者のQOL改善を目指した取り組み—サポータティブケアとは—」

座長 小泉 知展 (信州大学医学部包括的がん治療学講座教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン信州大学コーディネーター)

栗田 浩 (信州大学医学部歯科口腔外科学講座教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン支持療法委員会委員)

- リンパ浮腫に対する取り組み
栗田かほる (北里大学病院看護部 4 B 婦人科病棟)
- リハビリテーション分野の取り組み
辻 哲也 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学)
- 口腔ケア・口腔管理に関する取り組み
鎌田 孝広 (信州大学医学部附属病院 特殊歯科・口腔外科)
- 切れ目のない緩和ケア提供のために
～長野県における緩和ケア研修会の役割～
浜 善久 (前長野県がん診療連絡協議会緩和ケア部会長、長野赤十字病院 乳腺・内分泌外科部長)
- がん相談窓口の取り組み
仁科 直美 (信州大学医学部附属病院医療福祉支援センター)

お問い合わせ先

信州大学大学院医学系研究科
がんプロフェッショナル
養成基盤推進プラン事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1 (松本キャンパス)

TEL 0263-37-3376 (大学院係)

当日TEL 090-3143-4650

E-mail mgaku_gp@shinshu-u.ac.jp

会場までの交通

バス

松本バスターミナル (JR 松本駅前「アリオ」1階) のりば1「信大横田循環線」または「浅間線」に乗りし、「信州大学前」下車

お車で来学の場合

医学部附属病院外来駐車場に駐車してください。(有料)



会場は、正門から150mほど奥の右手建物です。

主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 高度がん医療開発を先導する専門家の養成